

2024年度事業計画

自2024年4月 1日
至2025年3月31日

I 事業活動方針

当財団が管理・運営する石橋文化センターは株式会社ブリヂストン創業者であり、久留米市名誉市民である石橋正二郎氏が「世の人々の楽しみと幸福の為に」と地域の発展を願い、1956年に建設、久留米市に寄贈した複合文化施設です。

今年度も2021年度からスタートした当財団の基本計画（2021年度～2025年度）に基づき、石橋文化センターの「美術館」、「ホール」、「庭園」の3つの機能に更に磨きをかけ、地域の文化芸術と観光振興の両面から更なる地域社会への貢献を目指します。

美術館は、2021年度以降、石橋財団支援によるトラックヤード整備をはじめ、本館外壁及び展示室内壁改修等、機能充実を図る工事が続きました。今期の2024年度は、一新した展示室で、地域作家の掘り起こしや、石橋財団助成による海外作家の大型作品を展示する自主企画展など4本を予定しています。夏の「藍のものがたり」の時期には、1階展示室で久留米市主催による久留米餅を紹介する展覧会が予定されており、相乗効果を図りながら充実した美術館活動を展開します。

石橋文化センター及び諸施設は、設立以来、普遍の寄贈理念に基づき、時代や社会の変化に対応しながら、その活動の姿を変えてきました。2023年度末には、施設の老朽化等により共同ホールが閉館されますが、2026年度の石橋文化センター開園70周年と久留米市美術館運営移行10周年に向け、引き続き来園者の安全性の向上やバリアフリー化を検討してまいります。

庭園は、園路カラー舗装や白鳥の池の水生植物等、魅力充実のための環境整備に取り組んでいます。今期は、これらの資源を活かし、園内イベントにおいて、新たにキッチンカーを主体としたフードエリアやキッズエリアの充実を予定しており、これまで以上に幅広い年齢層に愛される施設を目指してまいります。

また、本年度は6年ぶりに新規採用職員4人が入職します。組織の新陳代謝が急速に進む中においても、これまで培ってきた専門性とスキルを維持するとともに、人材育成に努め、組織の活性化と体制強化を図ってまいります。

本年度も、様々な取り組みを通じて、市民の皆さんに“楽しみと幸福の時間”を感じていただけるよう、魅力ある事業実施と環境整備に取り組んでまいります。

II 重点的な取組み

1 石橋文化センター開園 70 周年並びに美術館開館 10 周年に向けた取組み

(1) 石橋文化センター開園 70 周年に向けた取組み

1956 年 4 月 26 日に開園した石橋文化センターは、2026 年に開園 70 周年を迎えます。社会が大きく変化していく中、幼児から高齢者まで様々な年齢層の方や外国の方など全ての来園者が楽しく快適に過ごすことができるよう、誰にでも優しい文化施設を目指し、園内の環境整備に向けた準備に取り組みます。

また、開園 70 周年記念事業として、多くの市民の皆様に参加いただけるよう、ホールや園内で実施するイベントを計画します。

(2) 美術館開館 10 周年に向けた取組み

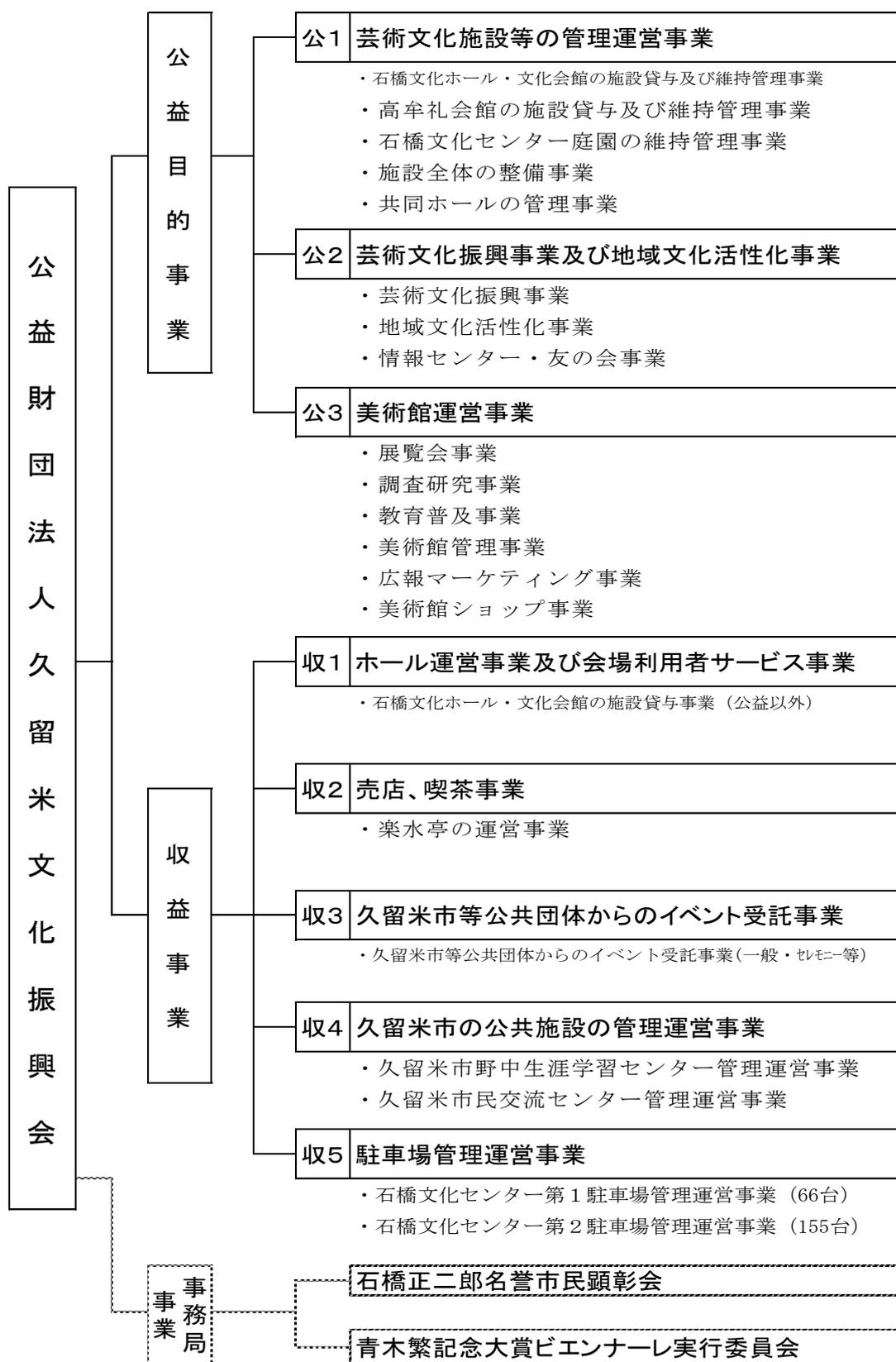
2016 年 10 月に石橋美術館の 60 年に亘る歴史を受け継ぎ、久留米市美術館、石橋正二郎記念館として再スタートしました。当財団は、2026 年の開館 10 周年に向け、10 周年記念展や環境整備等について、久留米市等と準備を進めてまいります。

2 基本計画のローリング

現基本計画（2021 年度～2025 年度）の 4 年目となり、計画当初は、新型コロナウイルス感染症の影響で入園者数は大きく減少していたものの、2022 年度からは回復傾向にあります。その他、管理施設の増減など、当初計画時点から変更となった事業もあり、計画内容の見直しを行います。

Ⅲ 事業内容

【公益財団法人久留米文化振興会事業体系】



【公益目的事業】

1 芸術文化施設の管理運営事業

石橋文化センター諸施設等の貸与事業及び維持管理を行うことにより、芸術文化の振興と地域文化の活性化に取り組みます。

また、石橋文化センター及び各施設の老朽化対策と魅力向上のための整備により、安全、安心、快適にご利用いただける文化施設を目指します。

(1) 施設の貸与事業

利用しやすい施設となるよう利用者サービスの一層の充実を図り、施設の利用を促進するよう努めます。また、日々の点検整備に加え、中長期的な整備計画も見据え、長く親しまれる施設運営を目指します。

① 石橋文化ホール・文化会館

市の中心部で良好なアクセス環境を備え、さらに大型車両も受入れ可能な駐車場を有するという利点を最大限に生かし、施設利用促進に取り組みます。

また、久留米市美術館や図書館、四季折々の庭園を楽しんでいただける付加価値もPRし、他の施設との差別化を図っていきたいと考えております。

② 高牟礼会館・芸能会館

高牟礼会館は、施設の修繕や庭園整備などに努め、施設の老朽化対策に取り組みます。

また、今年度から久留米市の要請を受け、高牟礼会館に隣接する芸能会館の貸与事業を開始します。

(2) 施設の維持管理

① 庭園

昨年度、園路舗装改修や園内トイレの防水等の修繕を行い、来園者の安全性の向上や、中長期のバリアフリー計画の実施に取り組んでいます。また、新たな園内の魅力として、初夏の水生植物の管理強化に取り組んでおり、スイレンやしょうぶなどの認知向上を高めるとともに、その他の花木の充実も図ります。

これらの取組により、入園者の増加を目指します。

② 施設整備事業

各施設の利用、安全面を維持向上するための整備を行います。

- ・石橋文化センター正門広場排水整備

2 芸術文化振興事業及び地域文化活性化事業

石橋文化センターでは、庭園、美術館、ホールを連携させたミュージアム化事業を中心に様々な文化事業を展開し、楽しみと幸福の時間を提供します。

また、音楽祭や学校で行うアウトリーチ等、文化の裾野を広げる事業にも取り組めます。

(1) 芸術文化振興事業

A 国内外の優れた芸術・舞台公演の鑑賞機会を提供する事業

- ・村治佳織ギターリサイタル（共催）
- ・ドラゴンクエストコンサート（九州交響楽団）

B 市民参加の文化振興事業

- ・第35回くるめ新人演奏会（新人音楽家によるコンサート）
- ・第36回くるめ音楽祭（吹奏楽祭・合唱祭・アンサンブルフェスティバル）
- ・第53回ニューイヤール・バンド・フェスティバル（吹奏楽合同バンド）

C 石橋文化センターミュージアム化事業

- ・ミュージアムコンサート「展覧会シリーズ」
- ・ハロウィン、クリスマス等の季節に合わせたミュージアムイベント
- ・ガーデンテラスコンサート

D 次代を担う世代とともに行う振興事業～未来への種をまく事業～

- ・石橋文化センターこどもスケッチ大会
- ・古典芸能、音楽等の体験を行う学校への芸術家等派遣事業（受託事業）
- ・TEENS' MUSIC PROJECT（受託事業）
- ・高等学校軽音楽祭@九州 R6～第3回九州コンテスト～（共催事業）

(2) 地域文化活性化事業

A 石橋文化センター園内の花や美術館を活用した市民参加の事業

バラやつばきなど四季折々の魅力をテーマとした「ななつの花めぐり」を中心に開催します。

今期は、これまで整備した資源を活かし、キッチンカーを主体としたフードエリアやキッズエリアの充実により、これまで以上に幅広い年齢層に愛される施設を目指していきます。

- ・春・秋のバラフェア
- ・初夏の花まつり「はなしょうぶ&スイレン&ホテル観賞」
- ・もみじまつり
- ・春の花まつり
「梅まつり」「つばきまつり」「SAKURA・チューリップまつり」

- B 久留米市内の各地域でコンサート等を実施する市民参加の事業（受託）
市民が音楽に触れる機会を提供するため、文化センター以外でもコンサート等を実施し、若手の人材育成、日本伝統音楽の振興を図ります。
- ・くるめライブチャレンジ 2024
 - ・第7回邦楽振興事業
 - ・六角堂広場ランチタイムコンサート
 - ・くるめ MACHI JAM（仮称）

(3) 情報センター・友の会事業

- A 情報誌の発行・ホームページの運営
情報誌「みどりのリズム」の発行（隔月発行）
ホームページ運営に加え、公式 LINE やインスタグラムなど新たなツールを活用した情報発信に努めます。
- B 友の会事業
美術館主催展覧会の年間フリーパスを主な特典とし、会員の増加を図ります。
- C 情報センター事業
石橋文化会館1階に加え、久留米シティプラザ内の「石橋文化センター情報サテライト」において、石橋文化センター、久留米市美術館の最新情報を中心に文化情報を発信します。

3 美術館運営事業

新たな美術館の基本方針に基づき、市民に親しまれる美術館を目指し、指定管理者として管理運営を行います。

2022年10月に搬出入口（トラックヤード）が新設され、大型作品や貴重な作品等を安全かつ円滑に搬出入することが可能となりました。今期もバラエティに富んだ見ごたえのある展覧会を企画実施することにより、市民が良質な美術作品に触れる機会を提供するとともに、展覧会関連講座やイベントにより、鑑賞や創作の楽しみを伝えるよう取り組みます。また今期から新たに、筑後ゆかりの作家を紹介する「ちくごist」展も開催します。

(1) 展覧会事業

- ① ちくごist 尾花成春
4月20日（土）～7月7日（日）
- ② 藍のものがたり
7月20日（土）～10月14日（月・祝）
- ③ 日本が見たドニ | ドニの見た日本
11月2日（土）～2025年1月13日（月・祝）
※公益財団法人石橋財団特別助成
- ④ 響きあう絵画 宮城県美術館コレクション
2月8日（土）～5月11日（日）

(2) 石橋正二郎記念館の運営

生涯を通じて、故郷である久留米市の発展に尽力した石橋正二郎氏の歩みやひととなり、様々な資料と石橋財団コレクション絵画展示により紹介するとともに、郷里の発展と文化振興を願い建設した石橋文化センターの芸術文化の拠点としての変遷を紹介します。

- ① 第25期 正二郎の生きた時代—1930 国産タイヤ製造
2月10日（土）～4月14日（日）
- ② 第26期 正二郎の生きた時代—1956 文化センター開園
4月20日（土）～7月15日（月・祝）
- ③ 第27期 正二郎の生きた時代—1962 パリ里帰り展
7月20日（土）～10月20日（日）
- ④ 第28期 正二郎の生きた時代—1889 誕生
11月2日（土）～2025年1月26日（日）
- ⑤ 第29期 正二郎の生きた時代—1928 久留米大学開学
2025年2月8日（土）～5月11日（日）

(3) 調査研究事業

- ・ 作品収集、保存・修復のための調査研究
- ・ 作家・作品及び展覧会企画のための調査研究
- ・ デジタルアーカイブシステム(K-Dash)によるデジタル資料の蓄積

(4) 教育普及事業

- ・ 展覧会に関する美術講座や体験講座の開催
- ・ 小中学生の美術館鑑賞受入れ
- ・ 博物館実習の受入れ
- ・ 展覧会や石橋正二郎記念館鑑賞の補助教材の制作
- ・ 坂本繁二郎旧アトリエでのアトリエトーク
- ・ 美術館ボランティア事業
- ・ 学校へのアウトリーチ事業

(5) 美術館管理事業

- ・ 作品鑑賞にふさわしい空間のための建物、空調設備などの維持管理
- ・ ギャラリー貸与事業

(6) 広報マーケティング事業

- ・ 美術館及び美術館活動に関する情報発信 (SNS 等含む)

(7) 美術館ショップ事業

- ・ 所蔵品や展覧会の図録、関連書籍、こども向け画材などの販売
- ・ 絵はがきや作品を配したオリジナル商品の販売

4 協賛・寄附制度

協賛制度は、久留米市美術館開館を契機とする「石橋文化センターをひとつのミュージアムと捉えた活動」などの久留米市美術館と石橋文化センター事業の支援と入園・入館者数の拡大を目的とした制度であり、今年度もより多くの企業、団体、個人の皆様に加入していただけるようPRに努めます。

また、花木の充実など園内の魅力向上に資するための寄附も募ります。

【収益事業】

1 ホール運営事業及び会場利用者サービス事業

利用者の要望を適切に把握し、看板や追加備品、装飾など、外注によるサービス提供についても積極的に提案し、利用者の負担軽減と包括的なサービス提供による利便性向上に努めます。

2 売店・喫茶事業

楽水亭では、販売価格の見直しを行い、収益性の改善を図るとともに、利用実態とニーズに合わせたカフェスペースの試験的な拡張や、メニュー開発の外部委託化など、店舗全体の運営見直しに着手します。

また、SNSなどを積極的に活用し、タイムリーで話題性のある広報・プロモーションに努めます。

3 久留米市等公共団体からのイベント受託事業（一般事業受託）

久留米市が主催する記念式典や開通式、表彰式など、当財団の事業ノウハウを活用し、公共イベントの円滑な運営に寄与します。

4 久留米市の公共施設の管理運営事業

(1) 久留米市野中生涯学習センター

5年間の指定管理期間の最終年度となる今期は、WEB予約システムなど申込における利便性のさらなる向上に取り組むとともに、事業計画の各テーマに沿った魅力ある自主事業を実施し、市民サービス向上を図ります。また、次期指定管理者選定の状況に対応します。

(2) 久留米市民交流センター（久留米市庁舎2階）

5年間の指定管理期間が今期から2年間延長されることとなりました。本格的な一般利用開始に向け、スムーズな貸出受付に努めます。

5 駐車場管理運営事業

石橋文化ホール、美術館、園内イベントによる利用状況を事前に予測し、適切に警備員を配置することにより、安全な駐車場管理に努めます。

また、観光バスによる団体利用についても積極的に受け入れ、駐車場の有効活用に取り組みます。

さらに、駐車場機器の更新に向けた準備に取り組みます。

【事務局事業】

郷土に生まれた先達の功績を顕彰し、全国へ向けて発信するとともに、創作活動を奨励し、芸術文化のさらなる活性化に寄与します。

主に以下の事業の事務局機能を担い、関係団体との調整を十分に図り、効率的な運営と事業促進に努めます。

1 石橋正二郎名誉市民顕彰会

実行委員会では、石橋正二郎名誉市民の理念を広く伝える事業を実施します。

- ・墓前祭の実施
- ・久留米市美術館 講演と展覧会見学の開催
- ・ゆかりの地見学会

2 青木繁記念大賞ビエンナーレ実行委員会

2023 年度に第 7 回青木繁記念大賞ビエンナーレを開催し、一旦終了しました。今期は、事務局として清算業務を行うとともに、久留米市とともに今後の方針を検討します。